

## 3M、通学路の安全性向上を目指し 宮城県多賀城市立山王小学校の通学路に安全対策を施工 ～3Mの反射材を活用した標識や路面標示で通学路での事故を減らす～

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：宮崎 裕子）は、3M 社（本社：米国ミネソタ州、取締役会長兼最高経営責任者：マイク・ローマン）が実施する、通学路における歩行者の視認性と安全性の向上を目指す「スクールゾーン・プロジェクト」の一環として、宮城県多賀城市立山王小学校の通学路に3M製品の提供および施工を行い、12月20日（火）に贈呈式を行いました。

本プロジェクトは、より安全な通学路の実現に向けて人びとの関心を集め、通学路整備の世界的モデルを確立することを目的としています。2024年までに世界23か国100か所の通学路で歩行者の視認性と道路の安全性向上を目指し、日本では地方自治体と連携して全国6か所で3M製品の提供と施工を予定しています。山王小学校の通学路における施工は、2022年5月に施工完了した山形県東根市の東根中部小学校の通学路に続き、日本では2か所目となります。

山王小学校の猪狩いづみ校長は「視覚でしっかりと捉えることができ、分かりやすい路面標示や標識は、子供たちの交通安全に対する意識を高めるのに大変効果的です。」とコメントしています

世界では未整備の道路や横断歩道の未設置、見通しの悪さなどが原因となり、多くの子どもたちが登下校時に危険にさらされており、通学路での事故は後を絶ちません。日本も例外ではなく、[政府の調査](#)<sup>※1</sup>によると、平成29年から令和3年までの小学生の交通事故死者・重傷者数は「歩行中」が最も高い割合を占め、全体の59%となっています。通学路の安全は最も優先すべき課題のひとつであり、日本政府も「[交通安全対策に関する関係閣僚会議](#)」<sup>※2</sup>などで対策を話し合うなど、対応を加速させています。

サイエンスカンパニーである3Mは、道路をより安全なものにするという使命のもと、80年以上にわたり道路標識用反射シートなどの研究開発をしてきました。今回のプロジェクトでは、薄暮時や悪天候時に高い視認性を発揮する反射材や、昼夜問わず見やすい高輝度な路面ライン材など、3Mの技術を組み合わせた高性能な資材を活用して通学路の視認性と安全性の向上に取り組みます。

※1 出典：「令和4年版交通安全白書」（内閣府）[https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r04kou\\_haku/index\\_zenbun\\_pdf.html](https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r04kou_haku/index_zenbun_pdf.html)

※2 出典：首相官邸ホームページ [https://www.kantei.go.jp/jp/101\\_kishida/actions/202112/24koutsuuanzen.html](https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202112/24koutsuuanzen.html)

### ◆宮城県多賀城市立山王小学校の通学路における施工内容

- ・ 注意喚起のため「とまれ」イラストを施した路面標示材を校門前や横断歩道前に5か所設置
- ・ 歩道の視認性向上のため、蛍光色反射材を縁石に36個設置
- ・ 薄暮時にも目立つ蛍光色の「歩行者注意」の警戒標識を4枚設置
- ・ 薄くなった白線（全天候型路面標示）の再施工（190メートル）
- ・ 校門前や付近の道路に「スクールゾーン」表記を2か所に施工

上記施工のほか、3Mの反射材を使用した、ランドセルなどに貼り付けられるステッカー3種類を各850枚ずつ全校児童へ配布しています。



施工前

施工後

---

「スクールゾーン・プロジェクト」に関する詳細は下記のウェブサイトでご確認いただけます。

<https://www.3mcompany.jp/SchoolZoneSafety> (日本語)

[https://www.3m.com/3M/en\\_US/company-us/school-zone-safety/](https://www.3m.com/3M/en_US/company-us/school-zone-safety/) (英語)

また、3M は 2021 年に日本を含む世界 11 カ国を対象に「交通安全に関する意識調査」を行いました。通学路の安全の項目では、63%の回答者の子どもが徒歩で通学しており、67%が「児童の通学時の安全確保のために、地域社会はより努力すべきだ」と回答しています。

結果の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

#### 【3M について】

3M(本社：米国ミネソタ州)は、サイエンス（科学）が明るい未来を創造すると信じています。人びと、アイデア、サイエンスの力を解き放つことによりさらなる可能性を模索し、世界中の社員がお客様、地域社会、そして地球の課題を解決するために取り組んでいます。人びとの暮らしを豊かにし、「これから」を創り出すための 3M の活動は [www.3M.com](http://www.3M.com) または Twitter の [@3M](#)、[@3MNews](#) をご覧ください。3M ジャパングループについては [www.3mcompany.jp](http://www.3mcompany.jp) をご覧ください。

3M は 3M 社の商標です。

プレスリリースに掲載している内容は発表時点の情報です。

最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

#### 【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ】

スリーエム ジャパン株式会社 PR 担当：Weber Shandwick 上杉、原田、竇(トウ)

TEL: 03-5427-7324 / 03-5427-7383 / 03-5427-7411 Email: 3MJapanPR@webershandwick.com